

## 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

### 1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
喜多方市		A-5	喜多方市魅力発信 PR 映像等作成・発信事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R8年度	20,908千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
1,609千円	804千円			○		

### 2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所の原子力災害により、本市を含む福島県の自治体は、科学的根拠に基づかない風評被害に苦しんでいる。</li> <li>・本市においても、これまで各担当課において風評払しょくのため様々な取組を行ってきたものの、未だに教育旅行の受入学校数が震災前の半数程度に留まっている等一定の風評被害が残っている状況。</li> </ul> <p>【教育旅行の受入学校数】 H22:59校 R1:31校 R6:29校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの5類移行後の経済活動の活発化や旅行需要が高まっている中で、令和5年8月のALPS処理水の海洋放出により、科学的根拠に基づかない風評により、本市を含む福島県全体のイメージを低下、本市製品の買い控え、旅行需要の低下、移住候補先としてのプレゼンスの低下等が懸念される。</li> <li>・令和7年度より3市町村連携により本事業に取り組んでいるが、風評の払拭やイメージの回復のためには長期的な取組が必要。</li> </ul>
上記の現状の原因となる課題について
<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的な根拠に基づかない風評を払しょくするために、科学的な根拠を用いて安全をPRすることはもとより、住環境、観光、物産を始めとする本市の魅力を含め、包括的、直接的にPRし、親近感、安心感を得られるような取組を行う必要がある。</li> </ul>
上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地で開催される観光・物産展への参加【H23～R1】</li> <li>・喜多方ブランド国内外販路開拓等支援事業【H25～継続】</li> </ul>

- ・交流のある市区を中心とした観光・物産展への参加【R2～継続】
- ・官民協力した魅力ある観光地の再建・強化事業（漢字のまちづくり）【H25～継続】
- ・風評払しょく観光・物産 PR 事業【H26～R3】
- ・首都圏等で行われる移住相談会等への参加【H27～継続】
- ・喜多方シティプロモーション事業【R6～継続】
- ・喜多方地方定住自立圏プロモーション事業【R7～継続】

#### 上記の取組における成果について

- ・観光客入込数 震災前 H22：188 万人、震災時 H23：157 万人、コロナ禍前 R1：182 万人、現状 R6：149 万人
- ・宿泊者数 震災後 H24：66 千人、コロナ禍前 R1：63 千人、現状 R6：53 千人
- ・市 HP PV 数 H26：85 万回 コロナ禍前 R1：215 万回 現状 R4：183 万回
- ・移住相談窓口を通じた県外からの UIJ ターン者数 R6：213 人(統計開始からの累計)

### 3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

#### 1. 市 PR 映像等作成・発信事業

- ①実施期間：令和8年4月～令和9年3月
- ②実施体制：単独
- ③実施場所：首都圏又は関西圏
- ④概算費用：1,609 千円
- ⑤実施内容：本市の魅力、風評払拭に向けた取組、食の安全性等を本市の特産品である日本酒の蔵元や農産物の生産者等のインタビューを交えながら、PR する映像及びパンフレット（作成数：5,000 部）を作成する。

#### 【媒体の活用方法】

本市 A-2 事業における、首都圏等での P R 事業を始め、本市が首都圏や関西圏で行う PR において活用

- ⑥「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：市や市内事業者等（蔵元や農産物等の生産者等を想定）がこれまで行ってきた復興・創生又は風評払拭の取組や食品の安全性（福島県が行っている放射性物質検査の結果等）を映像及びパンフレットを作成し、本市 A-2 事業における、首都圏等での P R 事業を始め、本市が首都圏や関西圏で行う PR において発信する。

⑦「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：市内事業者が手掛ける生産物の魅力を映像及びパンフレットにより発信する。

#### 4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
・PR映像 5本程度 ・パンフレット配布部数 5,000部程度	・喜多方市への観光客入込数 191万人 ※第3期喜多方市総合戦略に基づく目標値
長期的な目標 ※1つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載(○%)
・本市観光客入込数：令和11年(2029年)目標値203万人 ※第3期喜多方市総合戦略に基づく目標値	・本市観光客入込数：令和6年(2024年)実績値149万人 [達成度]73.3%